中橋（なかはし）　友子（ともこ）　議員

新年度予算編成について

現在、幕別町は「第５期総合計画」に基づき、平成29年には人口２万８千人を目指し町づくりを進めている。しかし経済不況の下で国はＴＰＰ交渉参加、消費税の増税、税と社会保障の一体改革による負担増など地域経済の衰退と、貧困の拡大を招く政策に向かっている。町民所得は年間200万円以下が７割を超えた。町民の暮らしを支え、地域の振興対策を強力に展開する必要がある。

以下について伺う。

①新年度予算編成に当っての基本姿勢について。
②財源の確保と公債費率の削減のあり方について。
③人口２万８千人達成に向けての地域別の人口推計と、特に幕別本町地区の定住対策について。
④平成24年度実施予定のコミバスの取り組みについて。
⑤日常的な住民参加の町づくりの推進について。

町長　①第５期幕別町総合計画に基づき、多種多様化する住民ニーズの把握に努めに、工夫を凝らした予算編成を行い、住民福祉の向上に向け取り組みたい。
②経費節減や自主財源の確保により起債借入額の抑制に努め、実質公債費比率の引き下げを図るために、財政健全化に取り組みたい。
③地域別の目標人口は、幕別市街地を３５９１人、札内市街地を１万９２３７人、幕別の郊外地を３５２０人、忠類地域を１６５２人と定めたところである。

定住促進策は、喫緊の課題であり、雇用対策、住宅対策を初め、町としてでき得る限りの効果的な対策を展開していきたい。
④平成24年度に試験運行や各種調査を行い、平成25年度に運行車両を導入し本運行へ進めていきたい。
⑤町政の主役は町民であり、町民目線を忘れることなく、安心して暮らせる地域社会の実現を目指してきた。今後も、住民参加の町づくりの確立に向け、情報の共有、参加機会の保障に取り組みたい。

水道料金の見直しについて

幕別町の水道料金は十勝で一番高いが、十勝中部広域水道企業団の原水単価が平成23年度より引き下げられた。

①原価の引き下げによるコスト減は幾らになるのか。
②十勝管内の料金はどのようになっているか。
③今後の事業の見通しについて。
④料金引き下げ計画の実施について。

町長　①幕別町の負担としては年間約３７５０万円、率では17・５％の減額となる見込みである。
②平成20年度の料金改定時において、本町の上水道区域における水道料金は、１カ月10立方メートル使用時で管内７番目から３番目に、20立方メートル使用時では８番目から３番目に、６立方メートル使用時での比較では管内10番目となった。
③大規模な地震に対応するため、排水管をダクタイル鋳鉄管に更新し、飲料水確保のための緊急貯水槽の設置を検討していきたい。
④料金の適正化は、事業とのバランス、財政の収支均衡と健全化を見きわめ、慎重に判断をしたい。

再質問　①地方税収入は帯広、音更、芽室に比べて歳入割合で幕別が一番少ない。引き上げの努力を。
②本町の人口は10年間で14％減少している。定住促進の具体策は。
③コミバスは24年度のいつごろから試行運転を行なうのか。

答　①少しでも多くの企業誘致やいろんな面で税の確保に向けてこれからも努めていきたい。
②３極が均衡あるような発展のためにさらに努力したい。
③夏と冬に入る前の２回を想定している。

総務文教常任委員会視察
（音更町のコミュニティバス）